

公共工事の入札・契約における 技術力評価の取り組み

国土交通省大臣官房技術調査課

課長補佐 藤井 政人



はじめに

公共工事は、その多くが経済活動や国民生活の基盤となる社会資本の整備を行うものであり、その入札契約に関して国民の疑惑を招くことのないようにするとともに、適正な施工を確保し、良質な社会資本整備のため、効率的に推進されなければならない。また公共工事は、契約した時点では品質が保証されておらず、工事完成後の台風や地震等に耐えられてはじめて品質が確保されているか確認できるといった特色を持っている。加えて、公共工事は多種多様であり、受注者の技術力も千差万別である。

また公共工事の発注者は、『工事費を適切に見積ること』『適切な企業を選定すること』『工事の監督および検査を適切に実施すること』という責任を有している。

一方、公共工事の最近の状況について目を転じてみると、建設投資が大幅に縮小する中で、いわゆるダンピングと言われるようなきわめて低い価格での落札が急増している。さらに、最低制限価格を公表している多くの地方公共団体においては、くじ引きによる落札が頻発している。ダンピング受注は、手抜き工事等により公共工事の品質低下を誘発するものであり、くじ引き落札は企業の命運を正に「くじ」に委ねるものであり、健全な企業を疲弊させるものである。

それでは、今後、公共工事においてどのように入札制度の改善に取り組むべきなのか。国土交通省においては、これまでも「透明性・競争性の確保」「不正行為の防止」「品質の確保」の三つの視点から公共調達改善に取り組んできた。例えば、平成13年4月に施行された「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」、平成15年6月から実施している談合があった場合の違約金特約条項の追加、平成9年度以降取り組んでいるVE方式や総合評価方式などの技術力を活用した入札方式などがそれである。

ここでは、「品質の確保」という視点で触れてみたい。



これまでの取り組み

国土交通省においては、技術力による競争を促進する観点から、平成9年度以降さまざまな入札・契約方式を試行してきている。以下は、その取り組みを経年的に示したものであるが、近年では、価格のみによらず、品質や性能なども評価して落札者を決定する総合評価方式に積極的に取り組んでおり、平成14年度は全発注金額の2割、平成15年度には2割以上を目標に取り組んでいるところである。

平成9年度 VE方式（入札時・契約後）の試
行開始
設計・施工一括発注方式の試行開始

平成10年度 性能規定発注方式の試行開始
 平成11年度 総合評価落札方式の試行開始（平成12年3月には大蔵省と包括協議）
 入札時 VE 方式で目的物の変更を認める設計施工提案型を試行
 平成12年度 CM 方式の試行開始
 「設計・施工一括発注方式導入検討委員会」（委員長：國島正彦東京大学教授）において、基本的方向を報告書としてとりまとめ
 平成13年度 契約後 VE 方式を公募型以上（2億円以上）の工事に拡大
 平成14年度 総合評価落札方式を発注金額の2割を目標に試行

任の一つとして『適切な企業を選定すること』がある。これは、公共工事の持つ性格を考えれば至極簡単に導き出せる結論である。すなわち、公共工事は契約した時点では品質ができていない、とすれば、その工事の品質を確保できる施工能力を持つであろうと考えられる企業を選別し、その企業に施工させる必要がある、ということである。

それでは、企業の施工能力は何によって評価できるのであろうか。

第一に、発注しようとする工事と同様な技術力が要求される工事を施工した経験があるかどうかということである。これについては、工事实績情報サービス（以下、「CORINS」という）があり、平成6年度以降の工事实績に関する情報約120万件が蓄積されている。これを活用すれば、どの企業がいつ頃、こういった内容の工事を施工したことがあるかが確認できる。

しかしながら、施工経験の確認は各企業の施工能力を評価の第一歩に過ぎない。つまり、施工した経験はあるが、実際には、施工管理や安全管理

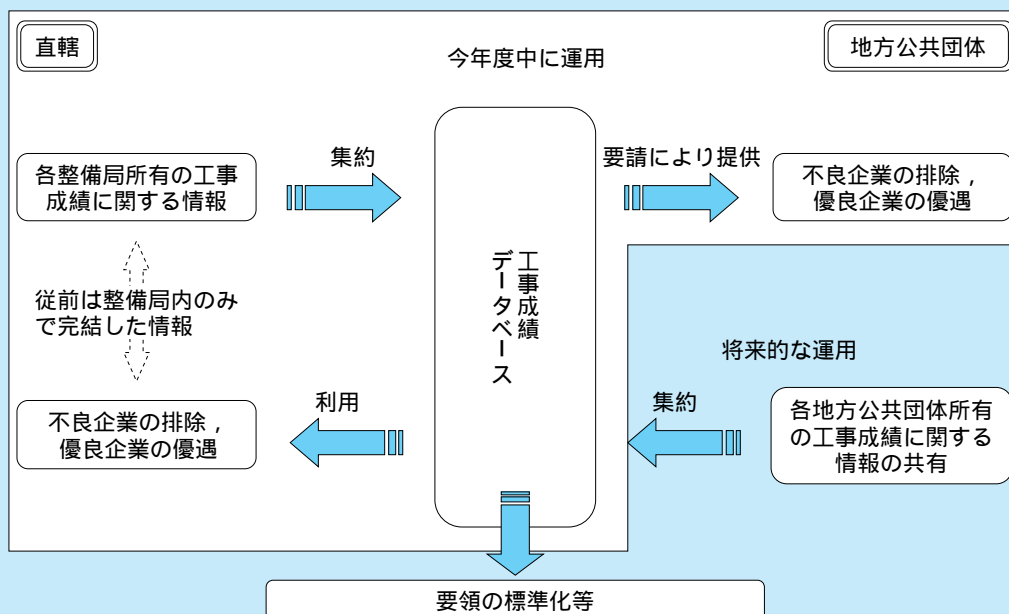
3

新たな取り組み

(1) 技術力評価の徹底

前述したように、公共工事の発注者が有する責

図 1 全国統合工事成績データベースの概要



等の面で不具合があった、などということもありうる。そこで、第二段階として、入札参加者の選定に際して「工事成績評価結果」を活用することが必要となる。

上記のような考え方に立って、国土交通省においては、平成15年度から以下に着手したところである。

- ・一定の工事成績に満たない実績については、実績として認めない措置
- ・優良な工事成績を持つ企業のみが参加できる工事の試行
- ・指名業者選定に際して、工事成績を今まで以上の重みで評価

また、国土交通省においては、直轄工事の工事成績を統合した工事成績データベースの構築を進めている。当面は、直轄工事での活用と地方公共団体に対する直轄工事の工事成績評価結果への情報提供を視野に入れているが、将来的には地方公共団体が持っている工事成績データも統合していくことも想定している（図 1 参照）。

第三に、技術者の能力評価である。

施工の良否は、企業の技術力もさることながら、現場を担当する技術者の能力にも左右される。国土交通省においては、1億円以上の工事においては配置予定技術者に対して過去の工事の施工経験を要求し、前述のCORINSにより確認している。現在、技術者個人の情報をより容易に検索できるようシステムの検討を進めているところである。

(2) 民間の技術力を引き出す競争方式

先にも記したように、国土交通省においては平成9年度より、民間の技術力を引き出し公共工事に積極的に活用していくために、さまざまな入札契約方式に取り組んでいる。その代表的な例がVE方式と総合評価方式である。特に総合評価方式は、提案の優劣が直接、落札決定に結びつくという観点から、一步踏み込んだ方式であるといえよう。

最近では、中部新国際空港建設工事で採用された方式が注目を浴びた。概要は、図 2 に示すと

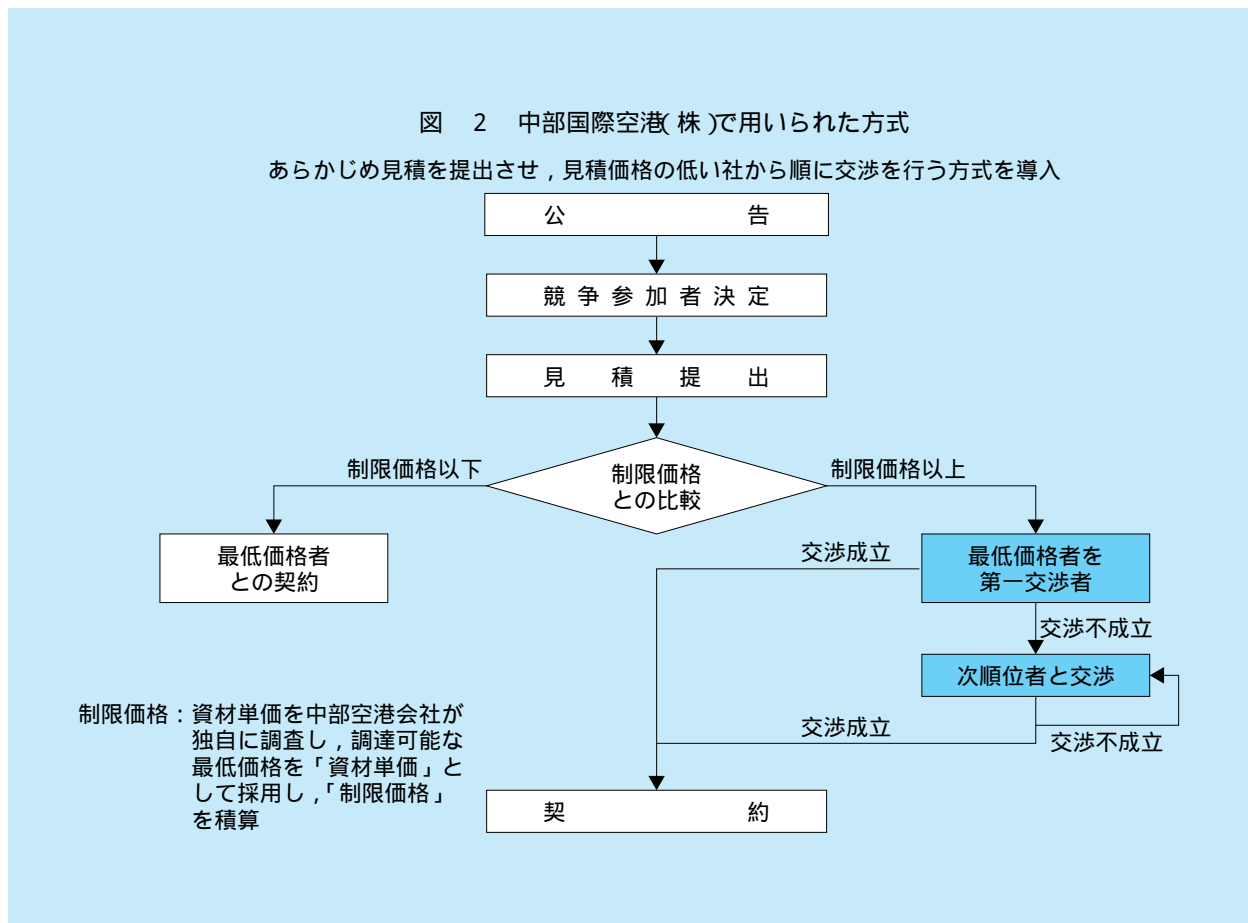
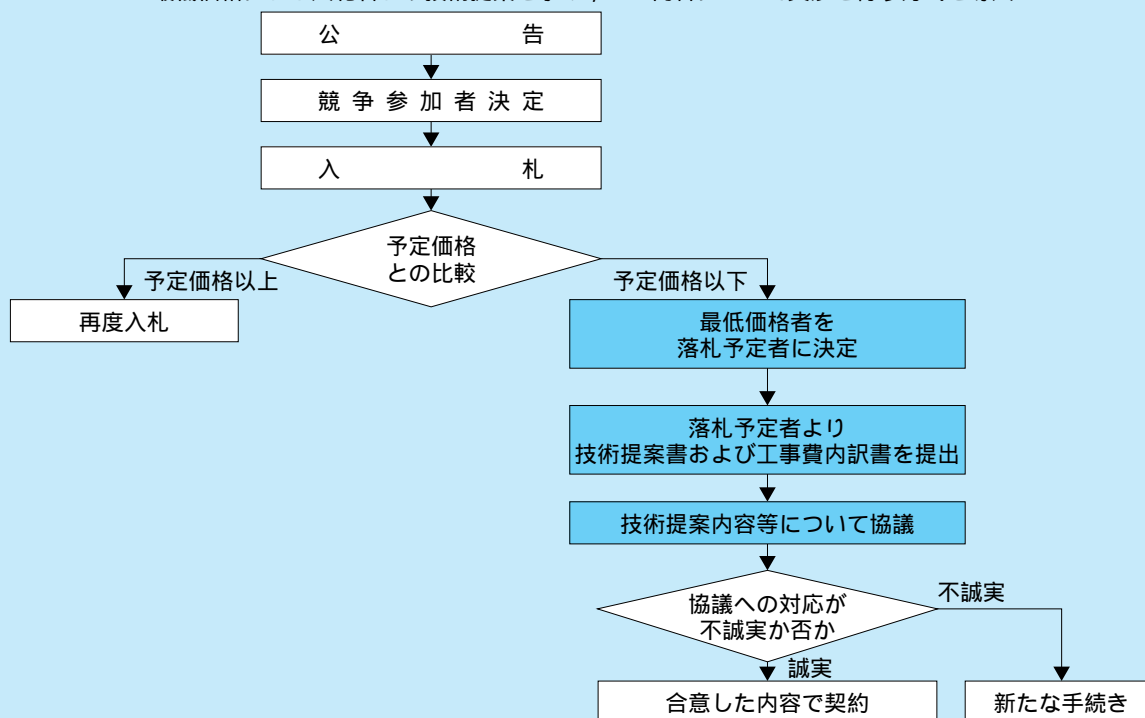


図 3 水資源機構で試行された方式

最低価格による入札者より技術提案を求め、その内容について交渉を行う方式を導入



おりであるが、この方法は、長期間の安定した取引関係を背景に、最低価格を提示した企業からさらに VE 提案を求め、企業努力を引き出そうとする、民間の調達方式を参考とした方式である。

その後、特殊法人等において、この方式を参考に入札後に交渉を行う方式が試行されている。図

3 は、独立行政法人水資源機構において採用された方式である。この方式は、入札後に最低価格を提示した企業から VE 提案を求め、その内容について協議することによりコスト縮減を目指そうとするものである。

今後、国土交通省の直轄工事においても、これらの交渉方式を参考にしながら、民間の技術力を引き出す方式を検討していくこととなる。その際には、民間企業に対して技術力を発揮しようというインセンティブをどのように与えるかという点も含めて検討することが必要となる。

4 おわりに

国土交通省においては、今後とも、良い品質のモノをより安く提供する仕組みづくりを進め、技術力競争がなされる環境の整備を進めていく所存である。ここで紹介した、統合工事成績データベースや技術者データ検索システムの構築もその一環である。総合評価方式については、昨年度2月に事例集とガイドラインをまとめ、地方公共団体に配布するなど、普及にも努めているところである。

また、これらの取り組みを進めるに当たっては、発注者側の能力の向上が不可避である。先の環境整備もその能力補完の一助となるものであるが、昨年度に出された会計検査院の報告によれば、監督・検査さえ満足できない発注者の存在も指摘されているところである。今後、これらの発注者を支援する仕組みについても検討を進める必要がある。

施工体制に関する全国一斉点検の実施結果について

(前)国土交通省大臣官房技術調査課

まえかわ りょうた
技術管理係長 前川 亮太

1 はじめに

「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律（以下「適正化法」という）」の施行を受け、発注者が施工体制を適切に把握するための点検その他の必要な措置を統一的行うため、国土交通省では「工事現場等における施工体制の点検要領」を定める等の取り組みを行ってきました。

国土交通省の監督職員・検査職員および施工者が適正な施工体制の確保に関する意識の向上を図ること、点検時において不備・不足事項があった場合には、施工者に対し必要な措置を行うこと、また、公共工事発注機関の連携を図ることを目的として、昨年度に引き続き、全国一斉に施工体制に関する点検を実施しました。

点検は、配置技術者の専任および常駐の状況やその同一性の把握、施工体制台帳の備え付け、施工体系図および建設業許可票等の掲示を中心に実施し、さらに今年度より、元請負業者の実質関与に関する点検を実施しました。点検には国土交通省だけでなく、すべての都道府県および政令市が参加するとともに、今年度より関係公団等とも連携し、同様の取り組みを行いました。

ここでは国土交通省直轄工事における、施工体制に関する全国一斉点検の実施結果について紹介

します。

2 国土交通省直轄工事における実施方法

(1) 点検時期

平成15年10月から11月を全国一斉点検期間とし、期間内に任意の実施日を定めました。

(2) 点検対象工事

請負金額が2,500万円以上の工事（建築一式工事においては、5,000万円以上の工事）、低入札価格調査制度調査対象工事（以下「低入札工事」という）および低入札工事以外で重点的な監督業務を実施する工事（以下「監督強化工事」という）を対象としました。

(3) 点検内容

建設業法、適正化法等に定める技術者の配置、施工体制台帳の整備状況等以下の項目を点検項目としました。

【基本点検項目】

- ①建設業許可票の掲示
- ②建退共適用事業場である旨の掲示
- ③労災保険関係成立票の掲示
- ④工事カルテの登録申請状況
- ⑤技術者の同一性

【監理技術者の配置等に係る点検項目】

- ①監理技術者資格者証の提示
- ②施工体制台帳の備え付け
- ③施工体系図の掲示

【元請負業者の実質関与に関する点検項目】（今年度より実施）

①技術者専任，②発注者との協議，③住民への説明，④官公庁等への届け出等，⑤近隣工事との調整，⑥施工計画，⑦工程管理，⑧出来型品質管理，⑨完成検査，⑩安全管理，⑪下請けの施工調整および指導監督

(4) 点検方法

点検は監督職員以外の職員による抜き打ち点検とし、各地方整備局においては、工事監視官、工事検査官および港湾空港整備課長等、各事務所においては、副所長、工事施工管理官および工務課長等により行いました。なお、各工事現場では、主任監督員等の監督職員の立会の上で関係資料の提示を求め実施しました。



3 国土交通省直轄工事の点検結果

全体で1,955件の工事（うち土木工事が1,735件、官庁営繕工事が220件）を点検しました。これは同時期の稼動中工事11,937件の約16%に相当します。

(1) 基本点検項目

建設業許可票の掲示については、昨年度は元請負業者のみの許可票を掲示している工事が多くありましたが、今年度は改善が見られました。なお、元請負業者のみの許可票を掲示している工事については、下請業者も含めた許可票を掲示するよう是正指示を行い、事後の確認を実施しました。

建退共適用事業場である旨の掲示および労災保険成立票の掲示については、一部に掲示が見られないものがあつたため、施工者に対し是正指示を行い、事後に改善の確認を実施しました。

工事カルテの登録申請状況については、ほとんどすべての工事において登録申請が行われていましたが、登録申請日が契約後10日以上かかっている件数が約10%あつたため、施工者に対し是正指示を行いました。

技術者の同一性については、すべての工事において同一人であることを確認しました。

(2) 監理技術者の配置等に係る点検項目

監理技術者資格者証については、点検時において一部の工事で資格者証が確認できなかったた

表 1 点検件数

a 点検件数		b 稼動中の工事件数			c 点検件数割合			
	a1 . aのうち 低入札工 件数	a2 . aのうち 監督強化工 件数		b1 . bのうち 低入札工 件数	b2 . bのうち 監督強化工 件数	a/b	a1 / b1	a2 / b2
1,955	196	19	11,937	325	58	16%	60%	33%

表 2 基本点検項目の点検結果

点検項目	建設業許可票の掲示			建退共適用事業場である旨の掲示			労災保険成立票の掲示	
	元請・下請 ともに掲示	元請のみ 掲示	掲示あり	掲示なし	掲示なし	他の制度等 により加入 不必要	掲示あり	掲示なし
工事件数	1,467	475	13	1,892	31	32	1,935	20

点検項目	工事カルテの登録申請状況			技術者の同一性		
	契約後10日 以内に 登録申請	契約後10日 以上経過後 に登録申請	登録申請 なし	同一人であつた	同一人で なかつた	不在
工事件数	1,722	232	1	1,943	0	12

表 3 監理技術者の配置等に係る点検項目の点検結果

点検項目	監理技術者資格者証の提示							
	確認できた				確認できなかった			
工事件数	1,627				25			

点検項目	施工体制台帳の備え付け				施工体系図の掲示			
	現場で備え付けていることを確認できた	現場で備え付けていることを確認できたが、不足があった	確認できなかった	対象外	工事現場の関係者および公衆の見やすい場所の両方に掲示	工事現場の関係者または公衆の見やすい場所の片方だけに掲示	掲示なし	対象外
工事件数	1,352	181	5	9	1,402	124	12	9

め、施工者に対し資格者証を携帯するよう是正指示を行い、事後に改善の確認を実施しました。

施工体制台帳の備え付けについては、一部の工事で添付書類の不足や記載内容に不備が確認されたため、是正指示を行い、事後に改善の確認を実施しました。

施工体系図の掲示については、昨年度は現場関係者または公衆が見やすい場所の片方のみ掲示している工事が一定数ありましたが、今年度は改善が見られました。なお、現場関係者または公衆が見やすい場所の片方のみ掲示している工事については、現場関係者および公衆が見やすい場所の両方に掲示するよう是正指示を行い、事後に改善の確認を実施しました。

(3) 元請負業者の実質関与に関する点検項目
(今年度より実施)

今年度より先述の11項目について点検を実施しました。

その結果、下請施工分の完成検査の実施、安全管理等において、書面での記録が不十分であったものが見受けられたので、是正の指示をし、事後に改善の確認を実施しました。

今回、こうした個々の関与状況について、書面等による確認点検を実施したことが、施工者の実質関与の徹底につながり、適正な施工体制の確保が図られるものと期待されます。

(4) 総括

点検項目の一部に不備・不足事項がありましたが、建設業法、適正化法等の重大な違反に該当す

る工事現場は見受けられませんでした。なお、不備・不足事項のある工事については、是正の指示をし、事後に改善の確認を実施しました。

4 地方公共団体および関係公団等の取り組み状況

47都道府県、13政令指定都市のすべてが点検に参加するとともに、今年度より8の関係公団等が新たに参加し、同様の取り組みを行いました。

5 点検による効果等

今回の点検を実施することにより、発注者、施工者とも、建設業法、適正化法に関する理解が深まり、適正な施工体制の確保に関する意識の向上が図られました。建設業許可票の掲示や施工体系図の掲示においては、昨年度に比べ改善が見られました。

一部の工事で、点検時において不備・不足事項があったため、施工者に対し是正指示を行い、事後に改善の確認を実施しました。

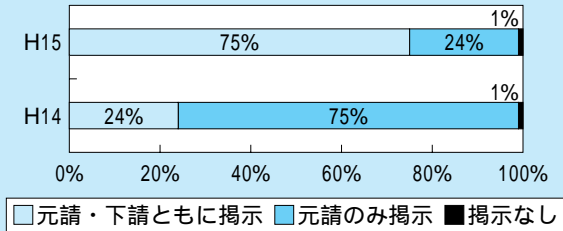
また、今回の点検に、多くの地方公共団体および関係公団等が参加し、公共工事発注機関の連携が図られました。

今後とも、地方公共団体および関係公団等との情報交換を行い、公共工事発注機関の連携を強化し、適正な施工体制の確保を図るため、所要の施策を講じてまいります。

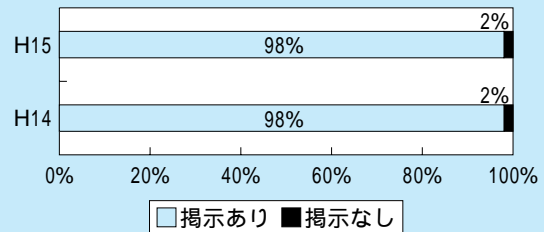
平成 15 年度 施工体制に関する全国一斉点検
点検結果の昨年度との比較

【基本点検項目】

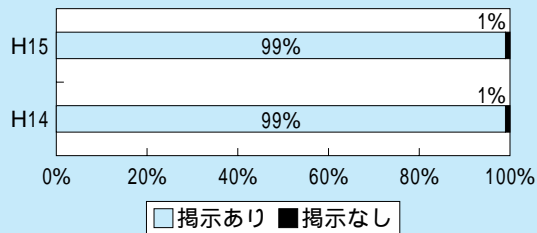
建設業許可票の掲示



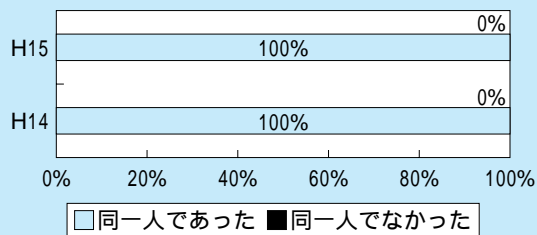
建退共通用事業場である旨の掲示



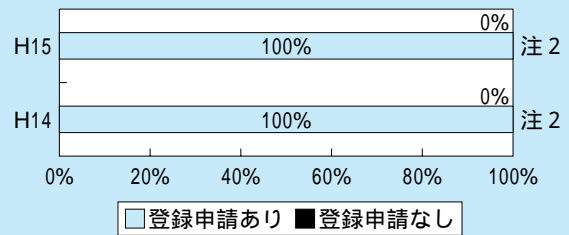
労災保険成立票の掲示



技術者の同一性

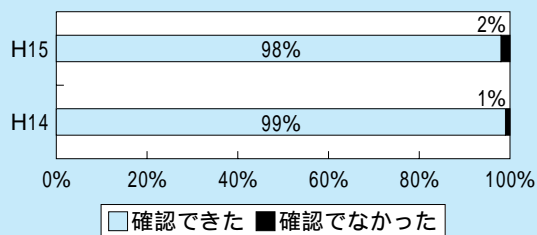


工事カルテの登録申請状況

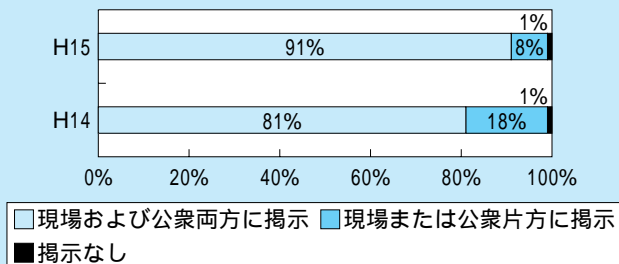


【監理技術者の配置等に係る点検項目】

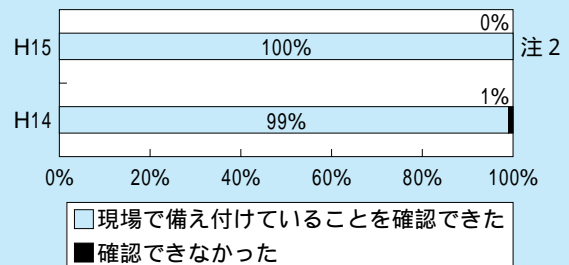
監理技術者資格者証の提示



施工体系図の掲示



施工体制台帳の備え付け



(注) 1. 小数点以下は四捨五入している。
2. 皆無ではないが四捨五入により 0% となっている。

(参考) 整備局等別の点検結果一覧

整備局等	事業種別	a 点検件数			b 稼働中の工事件数			点検件数割合			建設業許可票の掲示			建退共適用事業場である旨の掲示	
		a1 . aのうち 低入札工 事件数	a2 . aのうち 監督 強化工 事件数	b1 . bのうち 低入札工 事件数	b2 . bのうち 監督 強化工 事件数	(稼働 中の工 事件数 に対する 点検 件数の 割合) a/b	a1/b1	a2/b2	元請・ 下請と もに掲 示	元請の み掲 示	掲 示 なし	掲 示 あり	掲 示 なし		
本省	土木	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0
	営繕	17	1	0	58	1	0	29.3%	100.0%		7	10	0	10	1
	合計	17	1	0	58	1	0	29.3%	100.0%		7	10	0	10	1
北海道開発局	土木	102	6	0	1,596	10	4	6.4%	60.0%	0.0%	77	23	2	102	0
	営繕	14	5	0	30	6	0	46.7%	83.3%		4	10	0	14	0
	合計	116	11	0	1,626	16	4	7.1%	68.8%	0.0%	81	33	2	116	0
東北地方整備局	土木	211	14	0	1,179	18	0	17.9%	77.8%		187	21	3	208	3
	営繕	20	5	0	34	5	0	58.8%	100.0%		20	0	0	20	0
	合計	231	19	0	1,213	23	0	19.0%	82.6%		207	21	3	228	3
関東地方整備局	土木	252	50	2	2,273	75	2	11.1%	66.7%	100.0%	176	76	0	248	1
	営繕	39	4	0	39	4	0	100.0%	100.0%		4	35	0	32	4
	合計	291	54	2	2,312	79	2	12.6%	68.4%	100.0%	180	111	0	280	5
北陸地方整備局	土木	123	26	10	908	28	15	13.5%	92.9%	66.7%	97	24	2	118	2
	営繕	7	2	0	19	1	0	36.8%	200.0%		4	3	0	6	1
	合計	130	28	10	927	29	15	14.0%	96.6%	66.7%	101	27	2	124	3
中部地方整備局	土木	123	7	0	1,147	12	0	10.7%	58.3%		100	23	0	121	1
	営繕	11	1	0	61	3	0	18.0%	33.3%		1	10	0	9	1
	合計	134	8	0	1,208	15	0	11.1%	53.3%		101	33	0	130	2
近畿地方整備局	土木	366	35	1	1,153	83	20	31.7%	42.2%	5.0%	268	93	5	363	3
	営繕	50	3	0	100	4	1	50.0%	75.0%	0.0%	29	21	0	49	1
	合計	416	38	1	1,253	87	21	33.2%	43.7%	4.8%	297	114	5	412	4
中国地方整備局	土木	206	12	0	951	25	7	21.7%	48.0%	0.0%	191	15	0	201	3
	営繕	12	6	0	45	8	0	26.7%	75.0%		0	12	0	12	0
	合計	218	18	0	996	33	7	21.9%	54.5%	0.0%	191	27	0	213	3
四国地方整備局	土木	122	4	6	512	5	9	23.8%	80.0%	66.7%	100	21	1	121	0
	営繕	10	3	0	17	3	0	58.8%	100.0%		2	8	0	10	0
	合計	132	7	6	529	8	9	25.0%	87.5%	66.7%	102	29	1	131	0
九州地方整備局	土木	139	4	0	1,460	18	0	9.5%	22.2%		114	25	0	137	0
	営繕	0	0	0	43	5	0	0.0%	0.0%		0	0	0	0	0
	合計	139	4	0	1,503	23	0	9.2%	17.4%		114	25	0	137	0
沖縄総合事務局	土木	63	5	0	203	8	0	31.0%	62.5%		52	11	0	61	2
	営繕	1	0	0	1	0	0	100.0%			1	0	0	1	0
	合計	64	5	0	204	8	0	31.4%	62.5%		53	11	0	62	2
東京航空局	土木	8	0	0	13	0	0	61.5%			6	2	0	8	0
	営繕	16	2	0	45	2	0	35.6%	100.0%		5	11	0	11	0
	合計	24	2	0	58	2	0	41.4%	100.0%		11	13	0	19	0
大阪航空局	土木	20	0	0	20	0	0	100.0%			13	7	0	18	2
	営繕	23	1	0	30	1	0	76.7%	100.0%		9	14	0	12	6
	合計	43	1	0	50	1	0	86.0%	100.0%		22	21	0	30	8
全国計	土木	1,735	163	19	11,415	282	57	15.2%	57.8%	33.3%	1,381	341	13	1,706	17
	営繕	220	33	0	522	43	1	42.1%	76.7%	0.0%	86	134	0	186	14
	合計	1,955	196	19	11,937	325	58	16.4%	60.3%	32.8%	1,467	475	13	1,892	31

基本点検項目										監理技術者の配置等に係る点検項目									
他の制 度等 に 加 必 要	労災保険 成立票の揭示		工事カルテの 登録申請状況			技術者の同一性			監理技術者 資格者証の 提示		施工体制台帳の 備え付け				施工体系図の揭示				
	揭示 あり	揭示 なし	契約 10日 以内 登録	後 10日 以上 登録	後 10日 以上 登録 申請 なし	同一 人 であ った	同一 人 でな かった	不在	確認 でき た	確認 でき な か た	現 場 で 備 え て こ の 認 め ら れ て い る	現 場 で 備 え て こ の 認 め ら れ て い る	現 場 で 備 え て こ の 認 め ら れ て い る	現 場 で 備 え て こ の 認 め ら れ て い る	対 象 外	工 事 現 場 の 見 学 の 場 所 に 掲 示	工 事 現 場 の 見 学 の 場 所 に 掲 示	現 場 の 見 学 の 場 所 に 掲 示	現 場 の 見 学 の 場 所 に 掲 示
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	17	0	13	4	0	17	0	0	16	0	17	0	0	0	0	16	1	0	0
6	17	0	13	4	0	17	0	0	16	0	17	0	0	0	0	16	1	0	0
0	102	0	94	8	0	100	0	2	80	0	60	9	2	0	61	8	2	0	0
0	14	0	9	5	0	13	0	1	8	0	12	1	0	0	11	2	0	0	0
0	116	0	103	13	0	113	0	3	88	0	72	10	2	0	72	10	2	0	0
0	208	3	196	15	0	211	0	0	172	0	122	16	0	0	125	12	1	0	0
0	20	0	17	3	0	20	0	0	18	0	16	3	0	0	19	0	0	0	0
0	228	3	213	18	0	231	0	0	190	0	138	19	0	0	144	12	1	0	0
3	251	1	234	18	0	249	0	3	217	9	198	18	1	0	196	17	4	0	0
3	39	0	21	18	0	39	0	0	35	0	32	3	1	0	33	1	2	0	0
6	290	1	255	36	0	288	0	3	252	9	230	21	2	0	229	18	6	0	0
3	122	1	113	10	0	121	0	2	84	4	77	20	1	2	88	11	0	1	0
0	7	0	6	1	0	6	0	1	4	1	3	2	0	0	2	3	0	0	0
3	129	1	119	11	0	127	0	3	88	5	80	22	1	2	90	14	0	1	0
1	123	0	111	12	0	122	0	1	102	3	88	10	0	4	89	9	0	4	0
1	11	0	8	3	0	11	0	0	9	0	4	2	0	0	6	0	0	0	0
2	134	0	119	15	0	133	0	1	111	3	92	12	0	4	95	9	0	4	0
0	360	6	315	51	0	366	0	0	302	0	246	41	0	1	259	25	3	1	0
0	49	1	13	36	1	49	0	1	45	0	34	4	0	0	35	3	0	0	0
0	409	7	328	87	1	415	0	1	347	0	280	45	0	1	294	28	3	1	0
2	204	2	180	26	0	206	0	0	173	6	135	15	0	1	142	7	0	2	0
0	12	0	12	0	0	12	0	0	7	0	9	2	0	0	11	0	0	0	0
2	216	2	192	26	0	218	0	0	180	6	144	17	0	1	153	7	0	2	0
1	122	0	122	0	0	122	0	0	108	1	93	10	0	0	93	10	0	0	0
0	10	0	6	4	0	10	0	0	7	0	6	3	0	1	8	1	0	1	0
1	132	0	128	4	0	132	0	0	115	1	99	13	0	1	101	11	0	1	0
2	138	1	130	9	0	139	0	0	131	0	110	5	0	0	112	3	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	138	1	130	9	0	139	0	0	131	0	110	5	0	0	112	3	0	0	0
0	63	0	57	6	0	62	0	1	59	0	38	17	0	0	48	7	0	0	0
0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	64	0	58	6	0	63	0	1	60	0	38	17	0	0	48	7	0	0	0
0	6	2	7	1	0	8	0	0	8	0	8	0	0	0	7	1	0	0	0
5	15	1	15	1	0	16	0	0	7	0	9	0	0	0	7	2	0	0	0
5	21	3	22	2	0	24	0	0	15	0	17	0	0	0	14	3	0	0	0
0	18	2	20	0	0	20	0	0	14	0	14	0	0	0	13	1	0	0	0
5	23	0	22	1	0	23	0	0	20	1	21	0	0	0	21	0	0	0	0
5	41	2	42	1	0	43	0	0	34	1	35	0	0	0	34	1	0	0	0
12	1,717	18	1,579	156	0	1,726	0	9	1,450	23	1,189	161	4	8	1,233	111	10	8	0
20	218	2	143	76	1	217	0	3	177	2	163	20	1	1	169	13	2	1	0
32	1,935	20	1,722	232	1	1,943	0	12	1,627	25	1,352	181	5	9	1,402	124	12	9	0